

政治・経済 ▶ 読売新聞

「まさかスキャナー…」年金機構甘いチェック 業者のデータ入力で約95万2000人分にミス

次ページ >

読売新聞

2018年03月25日

いいね! 60 シェア ツイート 一覧 G+ B! 印刷 A A



記者会見する日本年金機構の水島理事長（左）ら（20日、東京都千代田区で）＝若杉和希撮影

日本年金機構が委託した業者のデータ入力で約95万2000人分にミスがあった問題は、機構側のずさんな業務管理が一因だった。

うち入力漏れの約8万4000人分で過少支給が判明。さらに約31万8000人分の一部で支給額に誤りがある見通しで、機構は26日にも詳細を公表する。度重なる不祥事に、識者は「体制を抜本的に見直す必要がある」と指摘している。

「まさかスキャナーで…」

「まさかスキャナーで読み取っているとは……」。ある厚生労働省幹部は、主なミスの原因が業者の契約に反した入力方法にあり、それを見逃してきた機構のチェックの甘さにあきれた。

機構が所得控除などに関するデータ入力を委託した情報処理会社「SAY企画」（東京都豊島区）は、2人1組で手入力するという本来の入力方法ではなく、スキャナーを使って紙のデータを読み取っていた。機械が誤認識した漢字などが残り、配偶者の所得区分を示す丸印も誤って認識され、過少支給などにつながった。

同社は昨年8月の契約時に約528万人分の入力を「800人態勢で行う」と説明していたが、作業が始まった同10月には百数十人しか確保できず、人手不足などを理由に、約500万人分の氏名のデータ入力などを中国の関連業者に委託していた。中国では70～100人態勢で入力してミスはなかったとされるが、個人情報の流出を招きかねない事態を引き起こしていた。

機構の水島藤一郎理事長は20日の記者会見で「事業に耐えられる設備やシステムを保有しているか確認していなかった」と述べ、業者選定がずさんだったことを認めた。機構はSAY企画とほかに32の契約を結んでいるが、契約額はほとんどが数十万～数百万円規模。今回は約1億8000万円で、これほど大規模な業務実績はなかった。

株式会社ディレクションズ/クリエイティブスタッフ：プロダクションマネージャー（制作管理・アシスタントプロデューサー）

仕事詳細

株式会社チョコレート/将来オリジナル番組コンテンツ・広告の映像制作を担うプロダクションマネージャー/アシスタントディレクター

仕事詳細

株式会社ADKアーツ/コミュニケーションプランナー

仕事詳細

東洋経済 定期購読 スタータープラン 新登場!

アクセスランキング 1時間 24時間 週間 月間 いいね!

森裕介を形作った憧れと努力と仲間との絆 26歳「SASUKE」制覇の男が怪物と呼ばれる理由

年収1000万円超の「中身」が問われている 49歳「アラフィフ残業貴族」を襲った年収減

アメリカも欧州も日本も、みんな危ない? ぐっちゃん「中国の恐ろしさに早く気付け」

キャッシュレス化が進む世界から周回遅れ 日本が現金払い主義からまるで脱せない理由

業者のデータ入力で約95万2000人分にミス 「まさかスキャナー…」年金機構甘いチェック

※過去1週間以内の記事が対象 >> 11~30位はこちら

第1位 amazon AI 教科書が読めない子どもたち 人工知能ですべてMARCH合格! 抽選で10名様に特別サイン本プレゼント!

トレンドウォッチ AD

偏狭な理想論じゃダメ、現実をどう動かす? 「最高学歴」学生が描く新・将来設計に迫る

リクルートがHRテックに参入する狙い AIを活用した人事で採用活動はこう変わる

2020年度の教育改革に親も子も戦々恐々 「個別指導」が家庭教師より生徒を伸ばすワケ

机上論で未来は拓けない、現実を目を凝らせ キレイ事じゃない! 「平和学」研究の実態

豊富な事例を用意しコンシェルジュが対応 東京でテレワークの始め方を相談できる場所

週刊東洋経済の最新号

福岡が起業の聖地になったワケ

「まさかスキャナー…」年金機構甘いチェック 業者のデータ入力で約95万2000人分にミス

◀ 前ページ

読売新聞

2018年03月25日

いいね! 60

シェア

ツイート

一覧

G+

B!

印刷

A

A

年金データ
入力ミスの内訳

ミスの種類	人数	影響と対策
① データを入力せず放置	約8万4000人	6万7000人分は2月支給分が1万~5万円少なく、3月に支払い。残り1万7000人分は4月分に上乗せ
② 支給額に影響する可能性のある誤入力	約31万8000人	影響人数などの詳細を26日に公表。過少分は4月分に上乗せ
③ 配偶者氏名などの誤入力	約55万人	支給額への影響はなく、機構が修正した源泉徴収票を再発送

計約95万2000人

機構は昨年10月段階で作業人員が説明と異なることを把握。同11~12月には計5回にわたって作業状況を確認したが、スキャナーによる読み取りなどを見抜けないまま、委託を継続した。今年1月には契約に反する中国への再委託も確認したが、その後も約18万人分のデータを渡していた。水島理事長は「事業が頓挫しそうになり、続けざるを得なかった」と釈明している。

こうしたさまざまな業務管理で、機構は約86万8000人分の誤入力や約8万4000人分の入力漏れを見過ごしていた。誤入力のうち約31万8000人分については、支給額に影響が出る可能性のある誤りだった。

続く不祥事

機構は、前身の社会保険庁時代、誰のものか不明な年金記録が約500万件あることが発覚したことなどを受け2010年に発足した。15年にはサイバー攻撃を受けて約125万件の個人情報流出し、昨年9月には年金加算金で過去最大規模の総額約598億円の支給漏れが発覚した。

年金問題に詳しい西沢和彦・日本総合研究所首席研究員は「業者の選定もチェックも甘い。外部委託には情報流出のリスクもある。委託内容を再考し、機構内で処理すべき事案については、人員を増員してでも対応するべきだ」と指摘する。

相談は専用ダイヤル（0120・051・217、25日と平日の午前8時半~午後5時）や年金事務所です受け付ける。

◀ 1 2

関連記事

ベンツやVW、BMWの電
動車は日本車に勝るか

交通系ICカード「導入費
用」は半端じゃない

小田急ロマンスカー「ふじさん」は定着するか

「外貨建て保険」に潜む恐ろしい「闇」と「ワナ」

「悪の手引書」編み出した男の強烈なとがり方

少ない服をヘビロテ！ 旅先での簡単お洗濯術

EPSON

大容量インクで
業務を止めない、
高生産インクジェットの時代。

そこに気づけば、インクジェット。
EPSONのスマートチャージ

詳しくはこちら

東洋経済 定期購読
スタープラン 新登場!

アクセスランキング

1時間 24時間 週間 月間 いいね!

- 森本裕介を形作った憧れと努力と仲間との絆
26歳「SASUKE」制覇の男が怪物と呼ばれる理由
- 年収1000万円超の「中身」が問われている
49歳「アラフィフ残業貴族」を襲った年収減
- アメリカも欧州も日本も、みんな危ない?
ぐっちゃん「中国の恐ろしさに早く気付け」
- キャッシュレス化が進む世界から周回遅れ
日本が現金払い主義からまるで脱せない理由
- 業者のデータ入力で約95万2000人分にミス
「まさかスキャナー…」年金機構甘いチェック

※過去1週間以内の記事が対象 ▶ 11~30位はこちら

SAP

ERP簡単見積もり
SAPのERP
スピード見積もり実施中

スピード見積もりを体験する

トレンドウォッチ AD

- 「ブレ金」1周年、パーソルの決意
働き方改革を早押し施策だけで終わらせない
- 個人と組織の「完成しない」良い関係とは
真剣議論！社員は会社の飼犬であるべきか
- AIを使って領収書読み取りが完全自動化
企業の競争力向上の鍵は「間接費改革」にあり
- システム建築が採用されている理由とは?
建築市場で進むデファクト化を探ってみた
- 世界中で選ばれる次世代プラットフォームへ
楽天トラベル新サイトが創る新しい旅行体験

週刊東洋経済の最新号

“遅い電車”の汚名返上
小田急 悲願の複々線化